

進捗状況報告

2016.7.13 事務局 河中

関係各位にホームページ開発の進捗状況を報告します

1 方針

- ① 錦帯橋文化紹介。徴古館にこだわらず全国の美術館も調査
- ② 河床下の3層の石畳や橋脚の石垣は創建時のままと主張する
- ③ 錦帯橋創設の背景を平易に説明する。

2 進捗率 約55%

既存HPの乗り換え：90%

新HPのFrame：90%

データ収集：70% (傍証)

論旨の整理：40% (主眼点、証拠など)

3 最近実施した内容

- ① 岩国巖流会と交渉：坂井さんが保有していたDVD, CDは岩国巖流会が作成したもので事務局の浦井義明さんと交渉した。承諾頂いたのですべて読み込んだ
- ② 島津先生と交渉：著作権保護を理由に困難との回答であった
- ③ HP表紙のタイル貼り処理に不具合があった。画像数が12枚までは交互になるが13枚以上だとならない。TOYOTAはMITが作成したtile.jsを改造していたが、聞けないのでjavascriptを地道にDEBUGして解決まで約2週間かかった。
- ④ 「究極の名橋 錦帯橋」を読み込んだ。岩国市が主催している専門委員会の委員が記述している。「アーチ構造の原理を理解していたらしい」が興味深い
- ⑤ 岩国市史：徴古館の岩国市史編集室が発行しており1700頁もあるので、関連部分だけ抜粋中である。詳細に調査しており理解が深まった。
- ⑥ 「真実性」の論旨がほぼできた。
- ⑦ 県知事への要望関係の写真をUPした
- ⑧ 「普遍的価値」は岩国市史に沿って歴史的事実を述べ、「日本で初めて洪水で流失しない橋を架けた」と主張しようかなと考えている

4 課題

- ① 徴古館で、錦帯橋関係の浮世絵・掛け軸等を調査
- ② 過去の講演会資料・錦帯橋関連図書の収集
- ③ 関連資料をできるだけ集める

5 その他

吉川元春の武功は凄い。病没したが今なら抗生物質があるので残念である。また、関が原直後に、毛利輝元は領地没収・切腹になるはずだが吉川広家の懇願で助命された。家康の懐の深さに驚かされる。艱難辛苦の経験に基づく理屈を越えた配慮が武将の心を動かし、器の小さいガチガチ奉行衆に勝ったのだろう。